

【第三種郵便物認可】

全日本空輸はこのほどアジアでの営業やマーケティング業務を統括する「アジアマーケティング室」立ち上げに向けた準備室を開設した。成長が見込めるアジア市場での販路開拓を強化する。

営業推進本部内に6月から準備室を設置した。室長をシンガポール支店

長の西村信泰氏が兼任するほか、兼任のスタッフ数人を配置した。

アジアでのチケット販売やマーケティングはこれまで各国の支店が中心となっており、今後はアジアマーケティング室が統括し、情報収集や販売展開などをより戦略的に進める。また、

金属やプラスチック樹脂を切ったり削ったりする際、どうしても「バリ」と呼ばれる余分な部分が出る。バリ取りは製造業に携わる人間にとって頭痛の種。「バリのことなら八尾に聞け」を合言葉に、産官学挙げてバリ対策に取り組むのが、大阪府八尾市の「八尾バリテク研究会」だ。



2003年に八尾市と関西大学が産学連携協定を結んだのが研究会設立のきっかけ。同市内には中小の金属加工業が多く集まる。関西大側の担当となったのがバリ研究の第一人者、システム理工学部の北嶋弘一教

八尾バリテク研究会 (大阪)



左から北嶋、中田、宮崎の各氏

手の内明かしムダなくす

授(67)だった。「バリはものづくりにとって永遠の課題。バリ発生を抑制すればその分、コスト削減できる」(北嶋教授)のだ。

設立2年目以降、参加企業の工場を見学するスタイ

ルが定着した。2カ月に一度、製造現場を見学し、その企業が抱えるバリに関する課題について参加者が思い思いに意見を話し合う。金属加工の大幸精機(八尾市)ではアルミに穴を開ける際、市販のアルミ用ドリルを使っていたが、どうしてもバリが出る。メンバーのアドバイスで、プリント基板など薄いものを使う「ろうそくドリル」を試してみると出なくなった。ドリル作りはメンバーで切削

「中田社長」。疑心暗鬼の会員を根気よく説得したのが八尾市産業政策アドバイザーの宮崎剛直氏(75)だ。

6月は三重県伊勢市の産業支援課が訪れ、市内企業との交流を要望。7月には兵庫県の尼崎商工会議所が八尾をお手本に研究会を立ち上げる。議論を通じてメンバーの心の「バリ」も取り除いていったことが、周から注目を集める源泉になっているようだ。

(東大阪支局長 中村厚史

従来は顧客は現地の日系企業社員などが多かった。全日空は昨年10月の羽

り、組織のグローバル対応を急ぐ。

国内外で受託事業拡大

TKRの買収nmsが発表

製造請負・派遣の日本マニユファクチャリングサービス(nms)は22日、電子機器の受託製造サービス(EMS)を手

掛けるテーケイアール(TKR、東京・大田、塩沢一光社長)を、7月中に子会社化すると発表

した。TKRが中国やマ

レーシアに持っている製造拠点や、国内大手電機メーカーなどの顧客基盤を活用することで、nmsは国内外で受託事業を注を拡大する。

nmsは国内での製造業派遣への規制強化の動きを受け、派遣から製造請負や受託事業へのシフ

経営・人事

社長交代

草壁氏が昇格

◇川崎信用金庫

30品目の店頭展開を始めた。肌触りの綿100%テコや、付属フィルおいしくする水筒など「夏」を涼しく過ごさせている。

女子部は各フロア属する27〜38歳の女性。通常業務を促プロモーションや顧客の視点で提案した「全国うまいもん子部が選んだスイという。女子部が選70品目の候補から「自分も使アッシュンアイテムとして外論して絞り込んだ。



草壁 悟朗氏(くさかべ じゆんろう) 77年(昭52年)慶大経卒、川崎信用金庫入

01年理事、07年専務理事。東京都出身。

【川崎】川崎信用金庫は22日、草壁悟朗専務理事(57)が同日付で専務に就任したと発表した。7年間トップを務めた八木晋郎前理事長(68)は相談役に退いた。草壁氏は主

日本傘下の子会社で水産

千葉



(現日本)08年加